

「アナモレリン服用によるがん患者の栄養指標への影響」 に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 薬剤部 職名 課長
氏名 櫻井 洋臣
連絡先電話番号 03-3353-3698
実務責任者 所属 薬剤部 職名 主務
氏名 島村 奈緒美
連絡先電話番号 03-3353-3698

このたび当院では、入院・通院された患者さんの情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2021年6月1日より2023年9月30日までの間に慶應義塾大学病院でアナモレリンを処方、服用開始された方

2 研究課題名

承認番号 20231155

研究課題名 アナモレリン服用によるがん患者の栄養指標への影響

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学病院薬剤部

研究責任者

櫻井 洋臣

4 本研究の目的、方法

がん患者さんの栄養評価は、体重や食事摂取量、症状、生活活動量の変化など主観的な評価を行うだけではなく、血液検査の結果(C反応性タンパク質、血清ヘモグロビン値、血清アルブミン値、総リンパ球数、総コレステロール値など)を組み合わせる方法も有効であると報告されて

います。

がんの進行に伴い、体重減少や食欲低下、倦怠感の症状を伴う低栄養の状態となり、さらに新陳代謝の異常によって栄養の消費量が激しく増加して、悪液質といわれる、体重、筋肉の減少などがおきることが知られています。これまで、がん悪液質に対して使用される薬剤はほとんどありませんでしたが、2021年にがん悪液質に効果があるといわれるアナモレリンが発売されました。当院においても、2021年6月より処方が始まっていますが、服用した患者さんの栄養状態がどのように変化するか、詳細は明らかになっていません。

本研究では、アナモレリン服用によって栄養指標にどのような影響があるか調査することにより、薬剤の適切な使用や処方支援に有益となることが期待されます。

5 協力をお願いする内容

診療記録からの下記情報の提供

- ・患者さんの基本情報（患者番号、年齢、性別、診療科、身長、体重、原疾患名、ECOG Performance Status）
- ・血液検査所見（C反応性タンパク質、血清ヘモグロビン値、血清アルブミン値、総リンパ球数、総コレステロール値、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、血中ビリルビン値、血糖値）
- ・薬剤治療内容（薬剤名、投与量、投与期間）
- ・赤血球輸血の実施の有無
- ・担当医師及び看護師、薬剤師のカルテ記載
- ・患者さんの訴え

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2024年10月31日

7 外部への試料・情報の提供

外部へ試料・情報の提供は一切いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

連絡先 慶應義塾大学病院 薬剤部

東京都新宿区信濃町35

電話番号 03-3353-3698（慶應義塾大学病院診療日 8:30～17:00）

担当者 島村 奈緒美

以上